

か。わへの関心も高まると思いますが。

西田 5月総会の第2部で、発表会みたいなものをやったことはあるが、評判がよくなかった。今年は映画（ディア・ドクター）にしたところ、多くの人が見てくれたように思う。わの活動をPRすることはとても大事です。今回スタートさせた表彰制度もその一つで、面白い提案があれば前向きに取り組んでいきましょう。

結婚相談所を開いては

須賀 ほんの思いつきですが、結婚相談所みたいなことをやってはどうでしょう（笑い）私はカレッジでいい人を見つけ、一緒になりました。夫や妻に先立たれ、一人暮らしの方はずいぶん多い。相談相手・パートナーが欲しいとの思いは、シングルになれば誰しもあります。

西田 それは面白いアイデア。ぜひ、所長になって実現してくださいよ。

須賀 アンチエイジングということからいえば、健康相談なんかでもいいでしょうね。

西田 みんな何か持病を持っている世代。気軽に相談したり体力測定ができたりする場所が必要かもしれません。

同窓会・カレッジとの関係

須賀 同窓会やカレッジとの関係はどうなっているのでしょうか。よくわからないですね。

西田 同窓会もOB組織だが、こちらはNPO法人ということもあり、一緒に活動はしにくい。いま、カレッジ・同窓会・クラブ協議会・ボランティアセンター・グループわの5者で〈社会貢献を考える会〉という連絡会を毎学期開いているので、「オールKSC」という繋がりの中で考えてはどうか。校友会みたいなものなら連携は可能だと思う。

須賀 14期生が6人理事に入りました。何か期待されるものはありますか。

西田 わの活動は息の長い継続したものが多い。役員も1、2年ではなく、もう少し長くしてもらわないと。若返りをして新しい発想で組織を引っ張ってほしい、という思いです。



広報活動を充実

▲一緒に頑張りましょう。

須賀 1200人も会員がいれば広報活動は大事ですね。情報ぎゅらりーもホームページも、「よく知らない」という声が多いようですが。

西田 会員の交流・情報の共有といった面で、ぎゅらりーやHPの果たす役割は大きい。できれば2つを有機的に運用し、発行回数や内容の更新をもっと密にしたいが、現状はそこまでいっていない。まず、ぎゅらりーを〈親しまれ、読みやすい〉ものに変えていきたい。部会・区会の報告だけではなく、カレッジの動きや一般会員にも関心をもってもらえる記事を掲載し、在校生や同窓会にも配布できないか、と思っている。

須賀 結婚情報も載せれば、読まれることうけあいですよ。（笑い）ホームページは、きちんと内容を更新するなら情報収集が大変ですね。

西田 ホームページ委員会があるが、日常活動をこまめに載せる体制ができていない。技術面はOKでも企画・取材面を見直す必要はあります。

須賀 広報体制の整備はこれから、ということですね。

西田 広報誌への投稿も含め、自由にモノが言える組織、楽しく活動ができる組織になるように、協力してがんばりましょう。

須賀 いいお話を…、ありがとうございました。

（対談は6月4日。進行と内容のまとめは岸本清と南形徹が担当しました）

●部会・区会 本部のもとに5部会・9区会がある。文化部会には27、いきがい部会には7、福祉部会には8、国際部会には5、環境部会には14グループが所属、計61グループが活動している。区会は各区ごとにおかれ、在校生や自治会とも連携して清掃や見守り隊などの活動をしている。

●本部事業 環境未来館・一ノ谷プラザの運営。子供たちへの虐待やいじめ問題の電話相談。小学校の学習支援、パソコン講座のほか、しあわせの村やフルーツフラワーパークとの協働イベントなど、年間を通してさまざまな事業を展開している。